

支援の質を考える

～思いを汲み取る力、思いを伝える力 支援は双方向性で決まる～

職種や分野を問わず「クライアント中心」というキーワードは、医療・福祉領域のいたるところで目にしますが、私たちは利用者さんの思いを本当に汲み取れているのでしょうか？

今回、人工呼吸器ユーザーでストレッチャー利用のもと、一人暮らしをしていらっしゃる折田涼さんと、そのお母様をお招きし、これまで医療・福祉サービスを利用してきた中で、支援者に、どんな思いをどのように伝えてきたか、成功体験・失敗体験を交えてお話ししてもらいます。


理学療法士の山崎貴峰さんには、クライアントの思いを「引き出し」「くみ取る」関わり方について、実例を挙げながら、幅広いご経験の中からお話しいただきます。

作業療法士で、当事者の家族でもある清水健さんには、「セラピストがあるアプローチを採用するまでのプロセスに、当事者の思いをどれ位反映できているか？」について議題提供をして頂き、架空のケースを基に、参加者でワークショップを行います。

「当事者の思いに寄り添うことは大事」「いろんな可能性を検討しないと、その人の生活を狭める」というように、一般論にしてしまうと、「そうだよね」で終わってしまいます。そこで、あえて一般化せず、個人的な意見を言い合うことで、普段の働き方を振り返るきっかけを作りたいと考えています。様々な立場からの「生」の声を聞きに、ぜひお越しください。

日時 2017年 **12月2日** (土)
14:00～17:00

場所 ワンモア豊中
阪急宝塚線豊中駅南改札より徒歩6分
チェリオビル501号 (地図はHP「1more.jp」まで)



費用 1500円

定員 20名 (先着順)
※定員になり次第〆切。その場合返信します。

研修内容・講師 (あおぎ人) の紹介

第1部 シンポジウム
 ■講師:
 折田 涼 さん (人工呼吸器ユーザー)
 NPO 法人ポムハウス 代表理事
 折田 みどり さん
 バクバクの会 事務局長
 山崎 貴峰 さん
 有限会社やわら 代表取締役
 理学療法士

第2部 議題提供
 清水 健 さん
 株式会社 夢くいばく 代表取締役
 ばくりハビリ訪問看護ステーション 作業療法士

第3部 グループワーク

主催 あおぎや Aogi家 代表 塚田 晋
 事務局 大阪府吹田市津雲台四丁目1番23号津雲台鋤開ビル2階
 申し込み方法 「aogiyaagiy@yahoo.co.jp」に、必要事項を入力し御返信下さい。(11/29(水)〆切)
 必要事項: 1.名前・職種 2.連絡先 3.勤務先名 4.講師に質問したい事 (あれば)

